

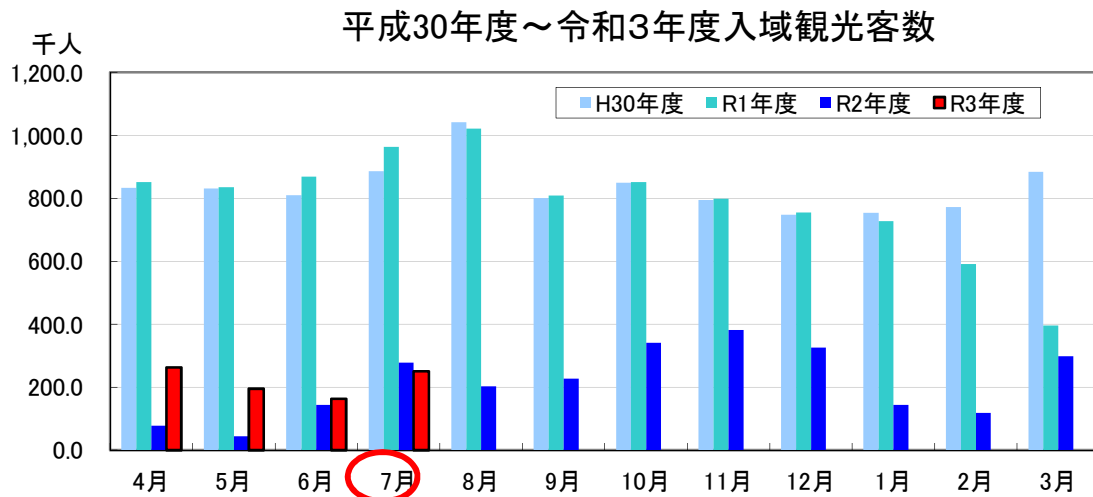
令和3年(2021)7月 入域観光客数概況

25万400人
 対前年(R2)同月比 △26,900人、△9.7%
 ～対前年同月比で4ヶ月ぶりに減少に転じる～
 ※対前々年(R1)同月比 △71万3,200人、△74.0%

入域状況

入域観光客数(令和2年度との比較)

区分	R3年度	R2年度	増減数	増減率	構成比
国内客	250,400 人	277,300 人	△ 26,900人	△ 9.7%	100.0%
外国客	0 人	0 人	△ 0人	0.0%	0.0%
合計	250,400 人	277,300 人	△ 26,900人	△ 9.7%	100.0%



国内客 入域状況

7月は、沖縄県や一部地域において緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が適用されたことや、Go Toトラベル事業が一時停止されている影響などから、前年同月を下回った。また、前々年同月と比べると大きく下回っており、依然として厳しい状況である。
 8月は、航空路線での運休・減便やGo Toトラベル事業の一時停止の継続、また、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が継続されている影響などから、厳しい状況が予想される。

外国客 入域状況

7月は、台湾、中国、香港、韓国を含む国や地域から、日本への入国制限措置がとられたことなどから、引き続きゼロとなった。
 8月は、日本への入国制限措置がとられていることなどから、厳しい状況が続くと予想される。

国内客 地域別入域状況

区分	R3年度	R2年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	136,000 人	139,600 人	△ 3,600人	△ 2.6%	54.3%
関西方面	52,400 人	64,800 人	△ 12,400人	△ 19.1%	20.9%
福岡方面	28,500 人	36,000 人	△ 7,500人	△ 20.8%	11.4%
名古屋	21,500 人	23,000 人	△ 1,500人	△ 6.5%	8.6%
その他	12,000 人	13,900 人	△ 1,900人	△ 13.7%	4.8%
合計	250,400 人	277,300 人	△ 26,900人	△ 9.7%	100.0%

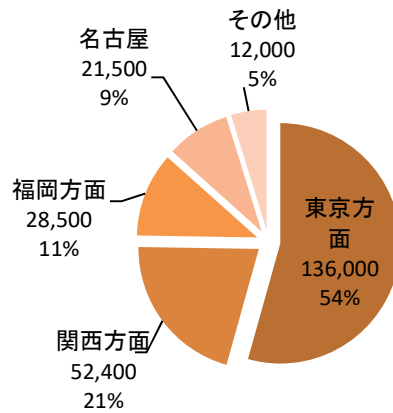
※国内海路客1,000人を含む(鹿児島1,000人)

外国客 国籍別入域状況

増減数及び増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	R3年度	R3年度	R2年度	増減数	増減率	構成比
	(乗務員等含む)	(乗務員等除く)	(乗務員等含む)			
台湾	0 人	0 人	0 人	0人	#DIV/0!	N/A
韓国	0 人	0 人	0 人	0人	#DIV/0!	N/A
中国本土	0 人	0 人	0 人	0人	#DIV/0!	N/A
香港	0 人	0 人	0 人	0人	#DIV/0!	N/A
アメリカ	0 人	0 人	0 人	0人	#DIV/0!	N/A
タイ	0 人	0 人	0 人	0人	#DIV/0!	N/A
シンガポール	0 人	0 人	0 人	0人	#DIV/0!	N/A
その他	0 人	0 人	0 人	0人	#DIV/0!	N/A
合計	0 人	0 人	0 人	0人	#DIV/0!	N/A

国内客の地域構成比



外国客 空路・海路の国籍別入域状況

増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	空路				海路			
	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比
台湾	0 人	0 人	#DIV/0!	N/A	0 人	0 人	#DIV/0!	N/A
韓国	0 人	0 人	#DIV/0!	N/A	0 人	0 人	#DIV/0!	N/A
中国本土	0 人	0 人	#DIV/0!	N/A	0 人	0 人	#DIV/0!	N/A
香港	0 人	0 人	#DIV/0!	N/A	0 人	0 人	#DIV/0!	N/A
アメリカ	0 人	0 人	#DIV/0!	N/A	0 人	0 人	#DIV/0!	N/A
タイ	0 人	0 人	#DIV/0!	N/A	0 人	0 人	#DIV/0!	N/A
シンガポール	0 人	0 人	#DIV/0!	N/A	0 人	0 人	#DIV/0!	N/A
その他	0 人	0 人	#DIV/0!	N/A	0 人	0 人	#DIV/0!	N/A
合計	0 人	0 人	#DIV/0!	N/A	0 人	0 人	#DIV/0!	N/A

各方面ごとの概況と見通し

東京

7月は、主要方面別で対前年同月比の減少率が最も小さかった。羽田－那覇路線などで減便規模が縮小されたものの、まん延防止等重点措置が適用されたことや、中旬から東京が緊急事態宣言の対象となった影響などから、前年同月を下回った。

8月は、羽田－那覇路線などでの減便継続、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が継続されている影響などから、厳しい状況が予想される。

関西

7月は、関西－那覇路線などで減便規模が縮小されたものの、まん延防止等重点措置が適用されたことや、関西－下地島路線で運休となったこと、Go Toトラベル事業が一時停止されている影響などから、前年同月を下回った。

8月は、関西－那覇路線などでの減便継続や、まん延防止等重点措置が継続されている影響などから、厳しい状況が予想される。

福岡

7月は、主要方面別で対前年同月比の減少率が最も大きかった。福岡－那覇路線や福岡－石垣路線で減便規模が拡大したことや、まん延防止等重点措置が適用されたこと、Go Toトラベル事業が一時停止されている影響などから、前年同月を下回った。

8月は、福岡－那覇路線などでの減便継続や、まん延防止等重点措置が継続されている影響などから、厳しい状況が予想される。

名古屋

7月は、中部－那覇路線などで減便規模が縮小したものの、まん延防止等重点措置が適用されたことや、Go Toトラベル事業が一時停止されている影響などから、前年同月を下回った。

8月は、中部－那覇路線などでの減便継続、まん延防止等重点措置が継続されている影響などから、厳しい状況が予想される。

台湾

7月は、台湾(台北、台中、高雄)－那覇の3路線が全て運休になっていることに加えて、日本への入国制限措置が継続されたことなどから、引き続きゼロとなった。

8月は、航空路線の運休やクルーズ船の運航停止、日本への入国制限措置が引き続きとられていることなどから、厳しい状況が続くと予想される。

韓国

7月は、韓国(ソウル、釜山、大邱)－那覇の3路線が全て運休になっていること、日本への入国制限措置が継続されたことなどから、引き続きゼロとなった。

8月は、航空路線の運休や日本への入国制限措置が引き続きとられていることなどから、厳しい状況が続くと予想される。

中国本土

7月は、中国(上海、北京、天津、杭州、南京、重慶、青島)－那覇の7路線が全て運休になっていること、日本への入国制限措置が継続されたことなどから、引き続きゼロとなった。

8月は、航空路線の運休やクルーズ船の運航停止、日本への入国制限措置が引き続きとられていることなどから、厳しい状況が続くと予想される。

香港

7月は、香港－那覇路線が運休になっていることに加えて、日本への入国制限措置が継続されたことなどから、引き続きゼロとなった。

8月は、航空路線の運休やクルーズ船の運航停止、日本への入国制限措置が引き続きとられていることなどから、厳しい状況が続くと予想される。